



体的・対話的で深い学び”については、子どもたちの活動の必要に応じて教室内や学校内を自由に主体的に動くことを保障するとともに、静かに一人で学ぶための場所や時間を意図的に用意する。このような動きと選択の自由が、責任意識や自治につながり、学びのオーナーシップ(当事者意識)を生むことを目指している。

また、学校を「ありのままの社会の姿を映し出す鏡」として、社会のあらゆる階層の人々が集まる社会にしようとする。そのため、学校を、子どもを中心として、子どもたちの育みに関わっている大人たちとともに構成される「生と学びの共同体」として、未来の理想的な社会を先

本書は、グローバル時代において、シチズンシップ(市民的態度)を学習させることの重要性を説く。「主体的・対話的で深い学び」について、子どもたちの活動の必要に応じて教室内や学校内を自由に主体的に動くことを保障するとともに、静かに一人で学ぶための場所や時間を意図的に用意する。このような動きと選択の自由が、責任意識や自治につながり、学びのオーナーシップ(当事者意識)を生むことを目指している。

今こそ日本の学校に！  
イエナプラン実践ガイドブック



リヒテルズ直子 著  
2420円 教育開発研究所  
☎03-3815-7041

保護者については、子どもと同様に、対話・遊び・仕事・催しを通して、学校参加が促されると言う。本書の言を借りれば、学校が、地域の人も含めた「生と学びの共同体」になることこそ、学社融合の今後の姿なのだろうと評者は考える。  
(前聖徳大学教授・西村美東士)

取りし実現しようとする。他方、健全であるべき育ちが、むやみに外部からの影響にさらされることのないよう、学校の「独立」を重視する。

このようにして、閉鎖的な思考に向けた教育から包括的な思考に向けた養育へ、学校現実の非人間性と非民主制から人間化と民主化へ、対話なき教室から対話へ、機械的教育から教育の人類学化へ、非真正から真正(ホンモノ)へ、不自由から自由へ、批判的思考をしないようにする教育から批判的思考に向けた養育へ、非創造性から創造性へという教育の転換を実現するよう訴える。

取りし実現しようとする。他方、健全であるべき育ちが、むやみに外部からの影響にさらされることのないよう、学校の「独立」を重視する。

このようにして、閉鎖的な思考に向けた教育から包括的な思考に向けた養育へ、学校現実の非人間性と非民主制から人間化と民主化へ、対話なき教室から対話へ、機械的教育から教育の人類学化へ、非真正から真正(ホンモノ)へ、不自由から自由へ、批判的思考をしないようにする教育から批判的思考に向けた養育へ、非創造性から創造性へという教育の転換を実現するよう訴える。